

小坂の滝めぐり

小坂の滝めぐりを未来につなぐ

昨年六月岐阜未来遺産に認定された、飛騨小坂の自然のめぐみと、体験・滝めぐり湯めぐり。この認定の中心となった小坂の滝めぐり。

二〇〇六年にVPPの法人飛騨小坂の滝が発足し、小坂の滝めぐりという言葉が生まれました。二〇〇八年には、その活動が評価され岐阜の宝もの第一号認定をいただき、二〇〇八年には、日本エコツリスマ大賞を頂くなど、対外的に高い評価を頂いています。これも長く活動を続けてきたことに諸先輩方や、地域の皆様の支えのおかげだと思えます。しかし皆さんも存じの通り、小坂の滝めぐりをささげる主カメラマンのほとんどは七〇代を越え、代に迫る勢いです。まだまだ皆さん元気でハードな現場仕事もバリバリこなしていただけています。頼もしいことこの上ありません。とはいえもう先は見えてきます。このような状況の中、周りの評価は高まり、これからどんどん盛り上げていくというタイミングで、十年先を思い描いたときに、関わる人間は大きく変わって行かざるを得ません。そう今のままでは次の十年を迎えることはできません。幸いにも今回、未来遺産の認定を受けて、九年先まで見通す事業計画を作成することになりました。会員の皆様や、関係の皆様からご意見を頂き、皆さんの小坂の滝めぐりに対する想いを受け、やはりこの活動は未来に繋いでいくべき活動だと改めて感じることができました。これから先は、私たちの世代が先頭に立ち、引張っていく番です。想を新たに現状を正しく受け止め、一歩を踏みだします。これからの私たちの活動をどうぞ期待をこめて見守ってください。もちろん一緒に活動を盛り上げて頂ける同志も歓迎です。この小坂の滝めぐりを未来につなぐために、今、私たちにできることをやります。

今後とも皆様の御支援御協力をどうぞよろしくお願い致します。

熊崎潤

春のさえずり



今年一番のさえずりがあちらこちらで聞かれます。

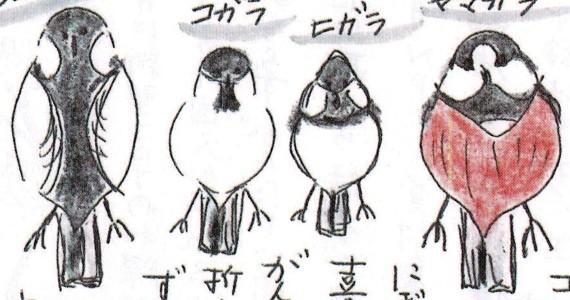
それにも十秒程度のロングトーンで体がミンとつくぐらゐの小さいのせこ子程の鳥、ミンサザイです。春先、小さな体を震わせて雪解けを集めた高らかな水音と競うようにさえずる。まさに、三ツ滝の滝へと落ちる水音と音比べをしています。

そして最近冬でもさえずる外来種のソウシチヨウが問題となつています。巣みかば、春のウグイスと同じ筈林、エサも雑食と似通っています。

ソウシチヨウの個体数が増えれば、ウグイスの生体形に影響を与えます。また、留鳥と呼ばれるヤマカラ、ヒガラ、コガラ、ミジユウカラは、同じフェリスを裸りに返し、どのみもにぎやかで春の訪れを喜んでいるかのようです。

かんたて公園では四季がずりが南こえます。さえずりには癒し効果がみられます。

シジユウカラ、コガラ、ヒガラ、ヤマカラ



皆越真伍代

自然観察会

春の花めぐり 二〇二四年 四月二〇日(土)

時間 九時半〜十三時
道の駅ほなもも集合

参加費 一五〇〇円 下呂市民・会員
二〇〇〇円 一般

フリンドウ、ニリンソウ、カタクリの花が
見頃です。可愛い花を探しに行きましょ。

濁河周辺花めぐり 六月八日(土)

時間 八時〜十四時
がんだて公園集合

参加費 三〇〇〇円 下呂市民・会員
四、〇〇〇円 一般

クリソウ、イワカガミ、イチヤクソウ
濁河周辺にも多くの花が咲きます。

秋の紅葉 十一月五日(火)

時間 九時半〜十五時
がんだて公園集合

参加費 二、〇〇〇円 下呂市民・会員
三、〇〇〇円 一般

冬芽を見つけよう 二〇二五年 二月十日(火)

時間 九時半〜十五時
がんだて公園集合

参加費 二、〇〇〇円 下呂市民・会員
三、〇〇〇円 一般

モニタリング

四月〜十月 と思えます。

第四火曜日 九時半〜十五時

がんだて公園集合
下呂市民

参加費 一、〇〇〇円(一般)
会員は無料

*全てのツアーに於いて別途協賛金三〇〇円徴収します。



フェウリグサ

二〇二二年十月に新型コロナの水際対策が大幅に緩和され、小坂にも多くの外国人が訪れるようになりました。最近ではツアーのみならず、がんだて公園に直接レンタカーで来たり、中には駅から徒歩で来る方もいます。

そこで昨年七月NPO会員対象に「がんだてイングリッシュ」という勉強会を自前開催しました。

参加者の平均年齢は七〇才。主にがんだて公園の当番業務に当たるいつものメンバーでしたが、南手、

キリソウ



直りのカタカナ英語で「フェアユーフォーム?」「エンジョイイン」などを覚えてもらいました。小坂のようなカントリーサイドでは完璧な英語より、ローカルローポの明るい笑顔からでてくる片言イングリッシュが心をつかみます。私もがんだて公園に来た外国人に勢いよく話しかけるNPOのスタッフ、チャン達を見ると笑顔になります。

昨年は、小坂の境めぐりが岐阜未来遺産に認定され、岐阜県から世界に選ばれた旅先というお墨付きをもらいました。駅からのアクセス、情報発信、

英語がイドの育成などグローバル化への課題は山ほどあります。が、その壁をのりこえて足を運んでくれた

皆様には、国籍と年代を越えた交流ができる場所、旅の記憶に残る場所として心に刻んでほしいです。

英語 ポルトガル語の全国通訳案内士

伍々木礼子

申込み

NPO法人飛騨小坂ニソ
〇五七六、六二二、二二五



クハソウ